

一般財団法人京都市防災協会

1. 団体の概要(令和7年4月1日現在)

代表者(職・名)	理事長 川中長治				
所在地	京都市南区西九条菅田町7番地 京都市市民防災センター内				
電話番号	075-662-1849	設立年月日	平成6年10月1日		
ホームページアドレス	https://kyotobousai-c.com/				
基本財産(又は資本金)(千円)	10,000	市出資・出捐金(千円)	10,000	市出資割合(%)	100.0
所管部局 (局・室・電話番号)	消防局総務部総務課 075-212-6612				
事業目的	防災思想及び防災知識の普及並びに防災に関する技能向上のための教育指導その他地域防災体制の確立に資する事業を推進し、もって地域社会の安全と福祉の増進に寄与すること。				
業務内容	(1) 防災思想の普及及び高揚に資する事業 (2) 事業所等に対する防災の教育指導に資する事業 (3) 各種防災関係講習 (4) 防災に関する調査及び研究 (5) 防災設備等の普及指導 (6) 京都市市民防災センターの管理運営 (7) その他協会の目的を達成するために必要な事業				

(参考①) 役職員の年齢構成

(単位:人)

	役員		職員		平均年齢 (歳)
	常勤役員	非常勤役員	常勤職員※	非常勤職員	
10~20歳代	0	0	0	0	67
30歳代	0	0	0	0	
40歳代	0	1	0	0	
50歳代	0	4	1	0	
60歳代~	1	7	4	10	
合計	1	12	5	10	

※うち1人は京都市からの派遣職員

(参考②) 積立金、不動産の概要

基金、積立金等(退職引当金は除く)		
主な基金、積立金名	想定される主な用途	期末残高
経営安定化基金	将来的な自主事業の実施、その他経営の安定化に関すること	11.1 百万円
特定事業積立預金	当協会の節目を記念して行う周年事業等の費用	3 百万円

土地、建築物の保有状況		
主な不動産の種類、場所	想定される主な用途	敷地・延床面積
-	-	- m ²
-	-	- m ²

(参考③)京都市の政策と団体活動の関連性

関連する本市の行政計画等とその方向性	
計画名	<p>新京都戦略 令和7年3月</p> <p>https://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/cmsfiles/contents/0000339/339369/senryaku.pdf</p>
概要	令和9年度までに取り組む政策や、政策を推進するためのしごとの仕方改革、財政・組織体制の今後の方針を示すもの。
計画における記載	<p><政策集></p> <p>6 市民のいのち・暮らしを守る「安心安全で災害に強いレジリエントなまち」</p> <p>(1) 危機管理・防災体制の構築</p> <p>④ 地域防災の中核を担う消防団や自主防災組織、水防団をはじめとする地域団体との連携や防災力向上に向けた取組への支援</p> <p>⑤ 防災教育・防災訓練の実施、マイ・タイムラインの普及促進などによる地域や家庭の防災力の向上</p> <p>(2) 消防救急体制の確保</p> <p>② 救急体制の充実、市民・事業所と連携した応急手当の普及啓発やAED の設置促進</p>
上記計画に関連する団体の事業や取組	
	<ul style="list-style-type: none"> ・防火・防災に係る各種イベントの開催(防災週間及び防災とボランティア週間に合わせた防災イベントなど) ・異常気象や風水害、地震災害等をテーマにした防災講演会の開催 ・防災用品の普及啓発及び販売、防火防災啓発資機材等の貸出し ・京都市消防局その他団体等と連携し、共催、後援等の実施(京都市総合防災訓練等での出展など)

2. 財務面の概要

(単位:千円)

主要財務数値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
	予算	実績	予算	実績	予算	実績(※)	予算
経常収益	176,810	182,373	181,950	178,107	176,158		176,961
経常費用	176,810	158,728	181,950	168,884	176,158		176,961
当期経常増減額	0	23,644	0	9,223	0		0
当期正味財産増減額	0	20,820	0	7,041	0		0
資産合計	-	102,496	-	112,125	-		-
負債合計	-	24,583	-	27,171	-		-
正味財産合計	-	77,913	-	84,954	-		-
累積損益額	-	67,913	-	74,954	-		-

(参考④) 財務指標

(単位:%)

			令和4年度 決算	令和5年度 決算	令和6年度 決算(※)	
自立性	市補助金割合	市補助金収入	0.0	0.0		小さいほど 自立性が高い
		経常収益				
安定性	自己資金率	正味財産合計	76.0	75.8		大きいほど 安定性が高い
		資産合計				
収益性	売上高経常利益率	経常収益－経常費用	13.0	5.2		大きいほど 収益性が高い
		経常収益				
	総資産経常利益率	経常収益－経常費用	23.1	8.2		大きいほど 収益性が高い
		資産合計				

(参考⑤) 京都市からの補助金等

(単位:千円)

		令和4年度 決算	令和5年度 決算	令和6年度 決算(※)	令和7年度 予算
補助金	—	0	0		0
	小計	0	0	0	0
委託料	市民防災センターの管理運営事業〔指定管理(非公募)〕	132,560	132,560		132,560
	京の宿泊所防火研修	759	715		-
	小計	133,319	133,275	0	132,560
貸付金	—	0	0		0
	小計	0	0	0	0
その他	—	0	0		0
	小計	0	0	0	0

3. 目標及び実績

(1) 業務面

目標 「センターの利用促進及び防災意識の高揚」	
令和6年度の目標	<p>ホームページやSNS等を活用した京都市市民防災センターの利用促進のための情報を定期的に更新するとともに、市民のニーズを具体的に把握するための来館者アンケートを実施し、その分析結果を踏まえた窓口サービスの向上を目指す。</p> <p>また、市民の防災意識を高揚させるため、自主的な活動につながる防災指導を重点的に取り組むとともに、講演会で実施する学識経験者による地震や異常気象等をテーマにしたタイムリーな防災情報を広く周知するため、ホームページを活用したWEB配信の提供に努める。</p>
令和6年度 の取組結果 (※)	
令和7年度の目標	<p>ホームページやSNS等を活用した京都市市民防災センターの利用促進のための情報を定期的に更新するとともに、市民のニーズを具体的に把握するための来館者アンケートを実施し、その分析結果を踏まえた窓口サービスの向上を目指す。</p> <p>また、京都市消防局と連携した消防局公式キャラクターの物品販売を展開することにより、幅広い年齢層の来館者アップを図る。</p> <p>さらに、市民の防災意識を高揚させるため、自主的な活動につながる防災指導を重点的に取り組むとともに、講演会で実施する学識経験者による地震や異常気象等をテーマにしたタイムリーな防災情報を広く周知するため、ホームページを活用したWEB配信の提供に努める。</p>

指標	防災意識の高揚（来館者のうち、自ら取り組もうとする意識をもった割合）						(単位：%)
目標と実績	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績 (※)	目標
	80	87	85	86	90		90

指標	入館者数						(単位：人)
目標と実績	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績 (※)	目標
	—	39,264	60,000	68,744	80,000		90,000

(2) 財務面

目標 「健全な財務運営」	
令和6年度の目標	京都市市民防災センターの運営においては、京都市からの指定管理料を効率的・効果的に活用し、サービス向上に取り組む。
令和6年度 の取組結果 (※)	

令和7年度の目標	京都市市民防災センターの運営においては、京都市からの指定管理料を効率的・効果的に活用し、サービス向上に取り組む。
----------	----------------------------------------------------------

指標	正味財産増加額						(単位：千円)
目標と実績	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標
	0	20,820	0	7,041	0		0

(3) 組織面

目標	「人材育成及び職員教育」
令和6年度の目標	協会の運営を担う人材育成及び職員教育を充実させるため、各種研修、セミナー等に積極的に参加し、質の高い組織体制を構築する。
令和6年度の取組結果(※)	
令和7年度の目標	協会の運営を担う人材育成及び職員教育を充実させるため、各種研修、セミナー等に積極的に参加し、質の高い組織体制を構築する。

指標	財団運営、コンプライアンス、応対等に係る研修、講習等の受講者延べ人数及び受講の講座数 (上段：受講者延べ人数、下段：受講講座数)						((上段) 単位：人) ((下段) 単位：講座)
目標と実績	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標
	15	11	15	14	15		15
				3		3	

4. 令和6年度の経営評価（令和5年度の経営状況に対する評価）

(1) 所管局による評価

財務面	令和5年度の当期一般正味財産増減額は7,041千円の黒字となった。 臨時的な庁舎修繕が重なったことや物価高騰により、費用は増加したものの、様々な運営努力等により、令和3年度から連続して黒字を確保するとともに、安定的な収支黒字を維持しており、財務指標は健全といえる。
-----	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業面	<p>令和4年度までは、新型コロナウイルスの感染症対策として、一部施設を完全休止するなど、利用制限を行ってきたが、令和5年度は、徐々に制限を緩和し、全ての施設を利用可能とした。また、完全予約制としていた施設の利用について、10名未満での利用は予約不要とするなど、コロナ禍前の環境の再構築に努めた。</p> <p>これらの取組を行いながら、防災週間や防災とボランティア週間における各種イベント及び防火・防災講習等を年間計画どおり実施することで、令和4年度の来館者数は40,000人に満たない状況であったが、令和5年度は68,744人となり、前年度から大幅に来館者が増加し、目標を上回ったことは評価できる。</p> <p>窓口サービス評価においても、依然「接遇」、「説明」等全ての項目において高い評価を受けており、来館者からのソフト面での満足度が高い結果となっている。</p>
-----	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(2) 外郭団体総合調整会議による評価

<p>近年の自然災害の激甚化・頻発化に伴い、京都市の消防・防災施策の推進における、当団体に求められる役割が高まる中、消防局との連携の下、市民防災センターの適切な管理運営等に取り組まれている点は評価できる。</p> <p>一方、より多くの市民に対し、防災意識の向上等を図るためには、様々な機会やツール等を活用した多様な取組が求められることから、団体のノウハウやネットワークを最大限に発揮したアウトリーチ策の創出など、市民防災センターの施設利用によらない取組に、一層努めていただきたい。</p>
